

天草市男女共同参画センター・ぼぼらすオープン記念講演会 男女共同参画社会づくりのさらなる発展に向けて

11月13日、「天草市男女共同参画センター・ぼぼらすオープン記念講演会」が天草市民センターホールで開かれ、約250人が来場しました。講演会では、前熊本県知事で、現在、長崎国際大学学長の潮谷義子氏が「みんなの出番、それが男女共同参画」と題して講演。男女共同参画にまつわる人々の意識や現状について、統計資料を提示しながら説明されたほか、自身の家庭内での経験なども紹介され、来場者は熱心に耳を傾けていました。



▲「感情と感情の豊かな交流が大切」と話す潮谷氏



▲標的に向けて放水を行う選手たち

屋内消火栓操法大会

消火技術の向上を目指して

「第14回屋内消火栓操法大会」が10月26日、本渡運動公園陸上競技場で開催され、天草地域の事業所や高校など34チームが参加しました。これは、天草広域連合消防本部が、屋内消火栓の操作技術の向上などを目的に2年に1回実施しているもの。競技は3人1組で、屋内消火栓を操作して標的に向け放水を行うもので、タイムや動作の正確性などが競われました。なお、優勝は男子が苓北町役場、女子が天草市立牛深市民病院、高校男子は牛深高校でした。

天草キリシタン館・来館者10万人突破

来館10万人目は三浦さん、江口さん親子

10月28日、昨年開館した天草キリシタン館の来館者が10万人を突破しました。この記念すべき10万人目の来館者は、三浦志津代さん（愛知県）、江口肇子さん（本渡町本戸馬場）親子。この日は、娘の肇子さんが住む天草に三浦さんが夫婦で遊びに来られ、たまたま来館されたとのこと。お2人には、市から認定書のほか天草陶磁器などの記念品、同館からは1年間の観覧無料券が贈られました。志津代さんは、「なんて運がいいんだろう」と話していました。



▲安田市長、同館・御寄館長といっしょに記念撮影をする三浦さん（左から2人目）、江口さん（同3人目）



▲「環境に適応した花壇づくり」について話す大出氏

市花づくり実演会

花づくりの極意を学ぶ

10月30日、西の久保公園で「天草市花づくり実演会」が開かれ、120人が参加しました。これは市が、現在進めている「天草花咲プロジェクト」をより推進しようと開催したもの。催しでは、目白大学短期大学部准教授の大出英子氏が、「適材適所の植物選びーイギリスの庭・日本の庭ー」と題して講演。その後は、同公園内で花壇づくりの実演を予定していましたが、雨のため内容を変更。同氏による花苗の講習会が行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

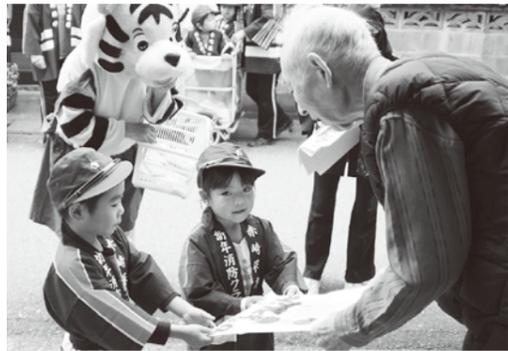
宮田地区文化祭

文化・芸術の秋を満喫！

10月30日、宮田地区振興会主催の「第1回宮田地区文化祭」が宮田体育館で開かれ、地区住民約200人が参加しました。これは、文化活動などの発表の場と、地区住民が文化・芸術に触れる機会を設けようと初めて開催されたもの。同祭では、まず宮田地区の勇壮な獅子舞が披露された後、カラオケや舞踊などの愛好家らが日ごろの練習の成果を発表。また、隣接する宮田公民館には絵画や書なども多数展示され、来場者は文化・芸術の秋を満喫していました。



▲フラダンスを披露する“サンビレッジ倉岳”の皆さん



▲“火の用心ポスター”を手渡す園児たち

赤崎保育所の園児らによる防火パレード

“防火の輪”つなげて広げて火の用心！

11月2日、赤崎保育所・幼年消防クラブの園児ら30人が、赤崎地区内で「防火パレード」を行いました。これは、秋の火災予防週間（11月9日～同15日）を前に、地域の人たちに防火を啓発しようと実施したもの。園児たちは、“火の用心”と書かれたハッピーに身を包み、拍子木を打ち鳴らしながら「戸締まり用心、火の用心」と声高らかに進行。また、園児たちが作った“火の用心ポスター”を各事業所の従業員らに手渡し、防火を呼びかけていました。

深海鯛釣り大会

雨にも負けず大物の鯛を狙う

10月29・30日、深海町の沖合いで「第5回深海鯛釣り大会」が開かれました。これは深海地区振興会が、鯛釣りの良好なポイントとして知られている、同町の魅力をPRしようと開催しているもの。今回は市内外から46チーム・181人が出場し、遠くは滋賀県からの参加もありました。大会は、両日ともあいにくの雨でしたが、参加者は魚が釣れるたびに歓声を上げるなど大盛況。優勝は、体長65.4cm、重さ3.4kgのマダイを釣り上げたチームでした。



▲釣り上げた魚を手にする優勝チームの皆さん



▲魚をさばく児童たち

豊かな体験活動in御所浦

島の文化に“感触・感謝・感動”

10月19日から22日まで、山鹿市立山内小学校の4～6年生の児童27人が、「豊かな体験活動in御所浦」と題して宿泊体験を行いました。期間中は、地元住民の家に寝泊りをする民泊体験を通して、伝馬舟のろこぎや化石採集など、御所浦ならではの体験を実施。また、魚さばき体験では、地元住民の手ほどきを受けながら自分たちで釣り上げたタイやアジ、カサゴなどの魚をさばいて食べ、命の恵みの大切さを感じていました。